

特集1 続:高校生たちの熱き挑戦

NEXT STAGE

ネクストステージ

福田龍之介

Profile

小学生時代、B&G海洋クラブに所属し、カヌーを体験したこともあり入部。成長著しく、5月にフォアのメンバーに抜てきされ、優勝に貢献した。短距離で鍛えた脚力が長所。



森下将剛

Profile

自然が好きでカヌーに興味を持ち入部。昨年秋、県新人戦で優勝。ことしの総体で2種目を制し全国大会へ。ウエイトトレーニングで鍛えた筋力をバネに力強くパドルを漕ぐ。



「練習どおりが結果を生んだ」で全国へ 狙うは2種目入賞

熊本県高校総体・カヌー競技は5月30、31日に菊池市斑蛇口湖ボート場で開かれ、人吉高校カヌー部の森下将剛さん(同校3年)野中田3)と福田龍之介さん(2年)上村)がカヌー・スプリントカヤックフォアで優勝。森下さんはカヤックペアでも優勝し、2種目で全国大会への出場を決めた。

練習どおりが結果を生んだ

県大会・九州大会は500mで競技が行われる。「ペアとフォアの2種目で全国に行くことが目標だった。練習通りの力が出せたことがよかった」と森下さんは県大会を振り返る。

同高のフォアは後半の伸びが売りのチーム。決勝もスタート直後は他校にリードを許したものの、どんどん差を縮め、最終的には2位の水俣高校に1分80秒の差をつけて1分44秒58のタイムで優勝。ペアを制した森下さんは、シングルでも同校の選手とワンツーフィニッシュを決めた。

「水俣が強いと聞いていたので、そこ

に勝って優勝できて良かった」と話す福田さん。ことし5月に行われた宮崎県での合宿で、メンバー入りを果たした成長株だ。シングルでの目標は決勝に残ること。自信を力に変えて有言実行。決勝に残り、見事6位入賞。ペアでも2位を勝ちとった。

苦手を克服する努力

6月中旬には大分県豊後高田市で九州大会が開かれた。二人にとって初めての舞台だ。ペア・フォアどちらも県大会以上のタイムを記録し、フォアは4位入賞。しかし、森下さんは、周りが強豪ぞろいで、自分たちのスタートの遅さが際立った」と反省した。

中学時代野球部だった森下さんは「自然が好きで、川の近くにいられると思った」、陸上部で短距離の選手だった福田さんは「B&G海洋クラブでカヌーをしたこともあって興味があった」と、同じ中学校の先輩の誘いもあって入部した。森下さんは「最初は楽しかったが、タイムを伸ばすための練習は本当にきつかった」と話す。

冬でも水上でのトレーニングは欠かせない。手が動かないほどの寒さに耐えてカヌーを漕ぎ、同時に陸上での地道なトレーニングも重ねた。「自分はクセのある漕ぎ方をしていた」とフォームは監督に指導を受け、実際にビデオで確認をして修正。努力が実り、昨年秋の県新人戦(シングル)で1位を獲得。だれよりも早くゴールできるほどに成長した。

「自分の持ち味は脚力だが、持久力がないことが課題だった」と福田さん。練習では500mを基本にメニューを組むが、冬場には一日30分を漕いで持久力を鍛えた。

目指すは6位以内

全国大会は8月3日〜6日に岐阜県海津市で開かれ、ペア・フォア、いずれも200mと500mで行われる。

森下さんは「2種目どちらも6位以内に入りたい。やるべきことはやってきたので、あとは体調を整えて万全の状態レースに挑みたい」、福田さんは「先輩の足を引っ張らないように、大会までに少しでも自分のレベルを高めた」と意気込みを語った。



Ryunosuke Fukuda

Shougou Morishita

森下将剛 県高校総体カヌースプリント
カヤックフォア1位 ペア1位 シングル2位
人吉高校3年 野中田3

福田龍之介 フォア1位 ペア2位 シングル6位
同校2年 上村

※1 スプリントカヤック……

直線コースをいかに早く漕ぎきるかを競う競技。カヤックは両側に水かきのついたパドルを左右交互に漕ぐ。乗組員の数によってシングル(1人)、ペア(2人)、フォア(4人)に分かれる

※2 全国・九州大会の出場枠……

県大会の1位は全国大会へ、九州大会にはシングル4位まで、ペア3位まで、フォア2位までが出場できる